

一勝地小だより

<https://es.higo.ed.jp/ishouchi/>

第7号
R 4.12.23 発行
文責：梅本 和高



よい年をお迎えください

あっという間でしたが、2学期も今日が最後になりました。子供たちは、学習面・生活面など様々な体験を通して、たくさんの大切なことを学び、大きく成長してくれました。本人たちの努力もありますが、保護者の皆様から頂きました御理解と御協力によるところが大きかったと感じます。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



さて、いよいよ明日から冬休みが始まります。冬休みの間には日本の伝統的な行事や文化に触れる機会がたくさんあります。「伝統文化や社会と関わる学習」の絶好の機会となります。大掃除・年末年始準備等、家事を手伝わせることは、子供たちに働くことの大切さや喜びを感じ取らせるとともに、家族の一員としての自覚をもたせることにもつながります。

また、来客への対応などは、社会性を養う場とも言えます。親子のふれあいを十分に深め、心に残る冬休みになることを願っています。よい年をお迎えください。

がんばった持久走大会

12月7日水曜日に渡小学校と合同で村内持久走大会を行いました。子供たちは、1・2年生が約1km、3・4年生が1.5km、5・6年生が2kmのコースを走りました。球磨村役場の地下翔太さんには、全ての競技で、伴走をしていただきました。

当日は、多くの保護者の方々、地域の方々、保育園の園児さんに応援に来ていただき、ありがとうございました。子供たちも、みなさんの応援が大変励みになったようで、練習のときよりタイムを縮める子が出るなど、その気持ちの入り方は格段に違ったようです。

自分もそうでしたが、走っている最中に、「もう、きついな。」「歩こうかな。」という思いがよぎります。ですが、その気持ちを我慢して走るところに、持久走のよさがあると考えています。遅くとも最後まで一生懸命走る子供の姿に思わず大きな声で応援し、感動したのは私だけではないと思います。みんな、本当によくがんばって走りました。



あいさつ向上プロジェクト

今月は、12月1日～16日の人権旬間に合わせて各委員会の委員長が中心となって「あいさつ向上プロジェクト」に取り組みました。あいさつが十分でないことは、これまでも本校の課題でしたが、大人と子供の間で、意識のズレがあることが分かりました。自分は、ちゃんとしたあいさつができていていると思っていっても、周りから見ると、相手に聞こえていないとか、乱暴な言い方になっている場合があるのです。

そこで、今回のプロジェクトでは、あいさつのポイントを「はっきり、ゆっくり、大きな声で、帽子をとって、立ち止まって」の5点とし、体育館前であいさつ運動を行いました。あいさつが上手な友達は、「あいさつ名人」として給食の時間に紹介しました。

あいさつ向上プロジェクトを通じて、子供たちは、自分から進んであいさつをするようになりました。また、学校に来られるお客様からも、あいさつがよくなったとほめていただき、大変うれしいです。子供たち自身も、「学校の雰囲気が明るくなった。」と手ごたえを感じていました。

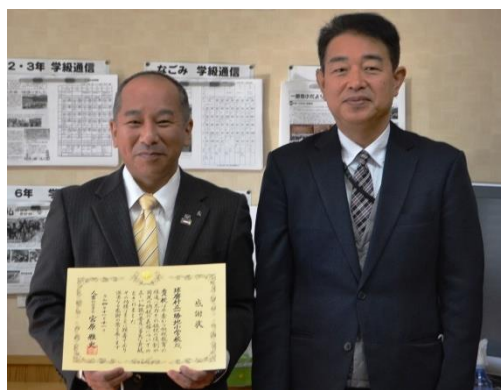


一勝地小学校ピンナップ

11/25 緑の少年団活動



12/13 租税教育推進表彰



租税教室の継続的な取組や税に関する作品の継続的な出品が評価され、租税教育推進校として人吉税務署長から感謝状を頂きました。

12/4 令和4年度球磨村防災学習



陸上自衛隊、熊本県警察音楽隊、人吉警察署、人吉医療センター、人吉下球磨消防組合西分署、消防第5分団、株式会社富士通ゼネラル、熊本オールトヨタ及び三ヶ浦地区にお住まいの人の協力により貴重な体験ができました。